

ふる里の川だより

No.4

慶佐次川自然環境再生協議会を開催しました！

地域住民や観光業者、東村、沖縄県などからなる協議会会員、オブザーバーが集まり、今年度実施した再生に関する取組の報告と今後の取組内容についての意見交換を行いました。



開催日：平成29年2月15日（水） 15：00～16：30

開催場所：慶佐次区公民館

参加人数：会員 10名、オブザーバー 4名、事務局 9名

協議会の内容

〔事務局報告〕 ① イベント開催結果について（広報誌No.3参照）

② 慶佐次川利活用計画の協議結果について

③ 慶佐次川マングローブ再生計画について

④ 慶佐次川下流再生実施計画（汽水域案）について

〔協議事項概要〕

◆下流域再生箇所（ワンド・水制工）の整備について（裏面参照）

- 再生の効果を確認するためのモニタリング調査は、地域の人達も参加できるように簡単な方法を検討し、調査マニュアルを作成することとしました。
- ワンドや深みは土砂で埋まることがないように計算して計画していますが、埋まるような傾向が確認された場合には、水制工の改良を行うなど、たまった土砂が自然に排出されるような人の手によらない改善策を検討することとしました。

◆マングローブの再生について

- 今後の取組が検討されているマングローブの再生については、天然記念物でもあることから、マングローブへの影響を十分に考慮し、慎重に進めていくこととしました。



今年度の協議会の開催は今回で最後となりますが、平成29年度も引き続き協議会を開催し、慶佐次川の自然環境再生や再生された自然環境の利活用方法の検討など、様々な活動に取り組んでいく予定であります。今後とも、ご協力とご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

協議会会員一同

下流域再生のためのワンドと水制工を整備しました！

広報誌No.3にてお知らせした下流域再生のための対策（ワンドと水制工）が昨年末に整備されました。それに伴い協議会会員による現地視察も実施しましたので、視察の様状と併せて再生箇所状況を報告いたします。

●下流域再生（ワンド・水制工）の整備状況



ワンド整備箇所(赤線で囲んだ部分)



ワンド内に作った深み(水深約1m)



ワンドの深みを維持するための水制工



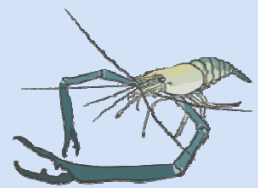
再生の目的等を示した説明看板



協議会会員による視察

ワンドの深みはボラなどの魚の生息場所となり、周辺の河岸は時間が経つと植物が生え、エビやカニ、小魚などの隠れ場所となります。

今後は再生箇所の維持管理とともに再生の効果を検証し、状況に応じて改良を加えていく予定です。



下流域再生箇所は危険ですので、入らないでください！

下流域再生箇所はまだ整備途中のため、魚やエビなどが安定して住みつくようになるまでは人の立ち入りはできるだけ避ける必要があります。また、再生箇所には深みもあり、間違っ落ちてしまうとたいへん危険です。

再生箇所での利用方法については、今後検討していきたいと考えております。生物が住みついているのが確認され、安全に利用できるようになるまでは、下流域再生箇所へは立ち入らないようお願い致します。